

CSS WG & DPUG IG 現状・活動報告

ビヨンド・パースペクティブ・ソリューションズ株式会社
COO 榊原 寛

ビブリオスタイル
CCO Florian Rivoal

- 自己紹介
- CSS WG / DPUB IG の関係性について
- Japanese Industry Meetup のご報告
- CSS WG 現状・活動報告
- DPUB IG 現状・活動報告

ビヨンド・パースペクティブ・ソリューションズ株式会社



代表取締役： 渡辺正毅
設立： 2007年10月31日
資本金： 1000万円
社員数： 20名弱
事業内容： 電子書籍関連事業
自社サービスの展開
Webアプリケーションシステム開発
研究開発事業
マーケティング事業

榎原 寛

IPA 未踏事業、2006、2007年度開発責任。
2008、2009年度日本学術振興会特別研究員 (DC2)
2010年 慶應義塾大学政策・メディア研究科後期博士課程単位取得退学
2010年度 BPS株式会社 入社
2012年度 BPS取締役就任
慶應義塾大学環境情報学部非常勤講師 (現在)
慶應義塾大学 SFC 研究所訪問研究員 (現在)

「超」EPUB シリーズ

超画像

マンガ 写真集

固定レイアウト向けEPUBビューア「超画像」は、ページをめくる感覚の向上、設定項目量の充実など、「読書体験」を徹底的に追求したビューアです。

対応プラットフォーム
Windows/Mac OS X/Android/iOS

超縦書

小説

最も進んだ
縦書きエンジン

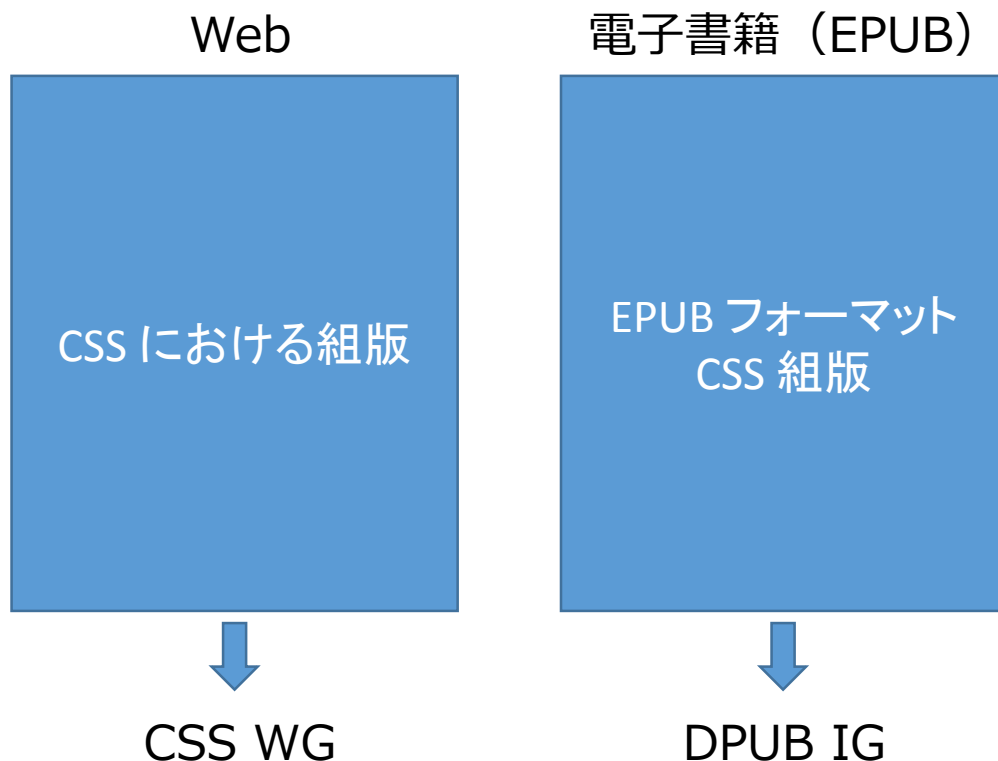
縦書きは90度回転のEPUB3エンジン搭載エンジンです。EPUB3で実装されているプロパティの95%を網羅した業界でトップクラスの機能を実現しています。

ルビ、禁則処理、外字対応など、日本語による確かな相性の再現性を追求して向上。縦書きレイアウト (小説等) 対応。W3C / IDPF メンバ(を始めて)として、電子書籍業界の専門家からも相違再現性において高い評価を受けているビューアです。

対応プラットフォーム
Windows/Android/Linux/Mac OS X (予定) /iOS (予定)



- 「次世代Webブラウザのテキストレイアウトに関する検討会」
 - Webを基本にした環境における、縦書きを普及するための委員会。
 - 電子書籍（EPUB）、Web など。



縦書きWG普及委員会は、日本の文化である縦書きを利用したWebコンテンツの普及促進に取り組んでいます。

縦書きの美しさを
ウェブの世界へ

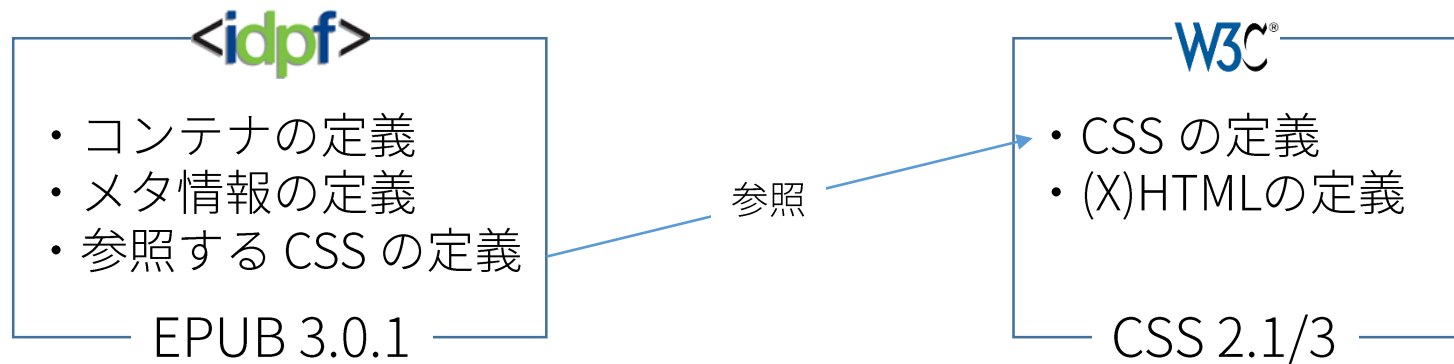
<http://tategaki.github.io/>

- 日本国内と CSS WG の連携を深める場（の第一歩）にできれば、ということで開催。
- CSS WG より 15 名程度、国内より 30 名弱の参加。
- アジェンダ
 - 榊原/Florian よりオープニング（10分程度）
 - 自己紹介（30分程度）
 - Fantasai より CSS の仕様策定に関する解説（45分程度）
 - WD→early CR→late CR→REC という CSS WG におけるステップ
 - snapshot の重要性について（REC までたどり着いている module は少ない）
 - 組版問題に関する議論（90分程度）
 - 行・文字グリッドについての話
 - Character GridはEditor/Browser vendor双方の興味が低い。特にBrowser vendorの興味が問題なので、もし日本で重要なら、Browser vendorに強く主張するのが重要。欧米では組版的にも優先度は低いと考えられている。
 - 中国でも重要、繁体字では禁則をしないなどの情報あり。
 - Line Grid の解決をまずは進めたい、とのこと。
 - JLReq をどこまで仕様にするかについて。
 - JLReq のプライオリティが分からないから、どこまで作業すればいいのかわからない。
 - ただし、**editor も足りない**ので、**誰が作業するのか問題がある**。
 - 国内から、もっと editor になりうる人を選出できればもっと仕様化のチャンスはある。
 - CSS WG と国内の連携について
 - 懇親会
 - 8割以上参加。
 - デザイナーさんなどが、実際にエディターと話ができて、良い機会。
 - 今後
 - 2016年のCSS F2F 日本開催を考えているので、JP Industry Meetup 第二回も同時開催を検討中。



- Florian さんより。
- <http://florian.rivoal.net/talks/csswg-2015/>

• 既存電子書籍との関連性



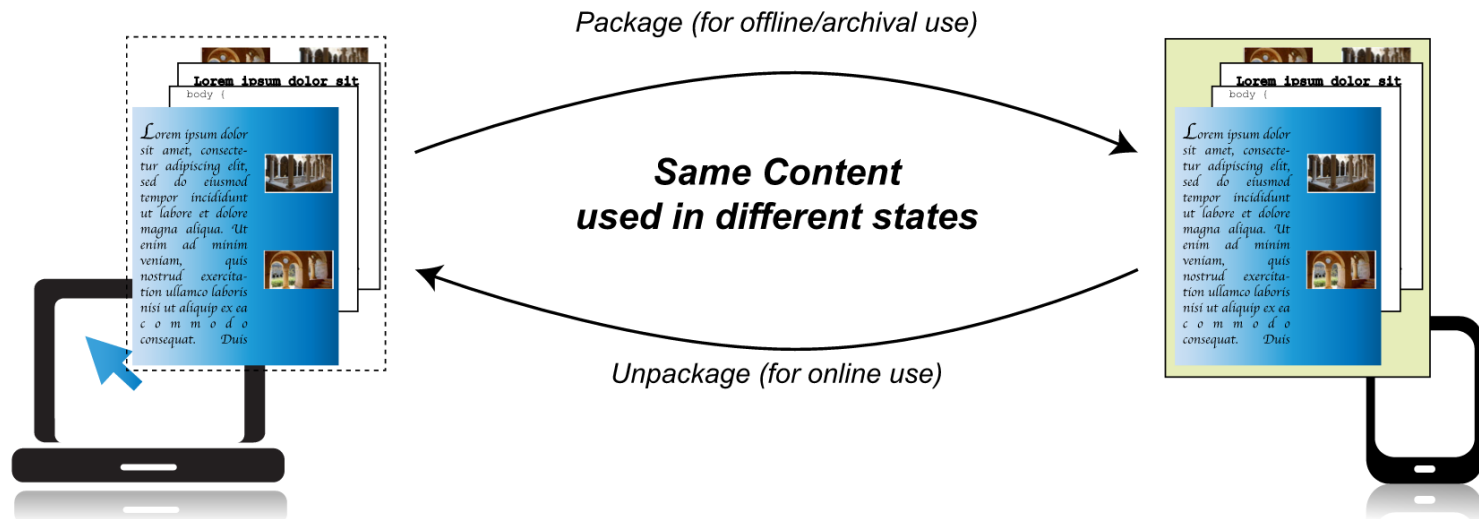
- 次の EPUB 仕様に向けて、HTML5 / CSS3 との連携を深める必要があるため、IDPF メンバが中心となって立ち上げられている Interest Group。

• スタッフ（議長など）

- Markus Gylling, IDPF and the Daisy Consortium, Co-Chair
- Tzviya Siegman, Wiley, Co-Chair
- Ivan Herman, W3C, Staff Contact

- PWP (Portable Web Publications for the Open Web Platform)

- 透過的にオンライン・オフラインでウェブコンテンツを参照するための仕様。
- まだ議論が始まったばかりのため、具体的な技術仕様ではなく、使用例の収集や方向性についての議論されている。



- EPUB Zero / Vernacular HTML
 - 特定領域における HTML の記述方法を指定することで、データの可用性を高めようとする提案。
 - PWP/EPUB というオフラインパッケージングを行う際、必要になる概念のため、ホットトピックの一つ。

- EPUB 3.1
 - 現状最新仕様である EPUB3 (3.0.1) の次バージョン。
 - 2016年1月草案、10月勧告の予定で動いているが、非現実的。
 - 10個のサブグループに分かれて作業している。
 - <http://www.w3.org> Sub-groups
 - XHTML ではなく、I
 - CSSをどこまで許可
 - Snapshot 2015を
 - Identifiers
 - PackedとUnpack 体系はどのような

- POM CG 設立(@TPA

<ol style="list-style-type: none"> 1. Metadata (internal/external records, triples, expanded a11y metadata) 2. Browser-friendly manifestation 3. Serialization (X)(H)(T)ML 4. Scripting (clarify/adjust existing rules) 5. Restructuring 	<ol style="list-style-type: none"> 6. A11y (stricter validation, metadata) 7. Consolidation (umbrella spec, one URL for EPUB 3) 8. Additional core media types 9. CSS (may replace EPUB CSS profile with CSSWG snapshot) 10. Death to elements
---	---

以上、ありがとうございます。